

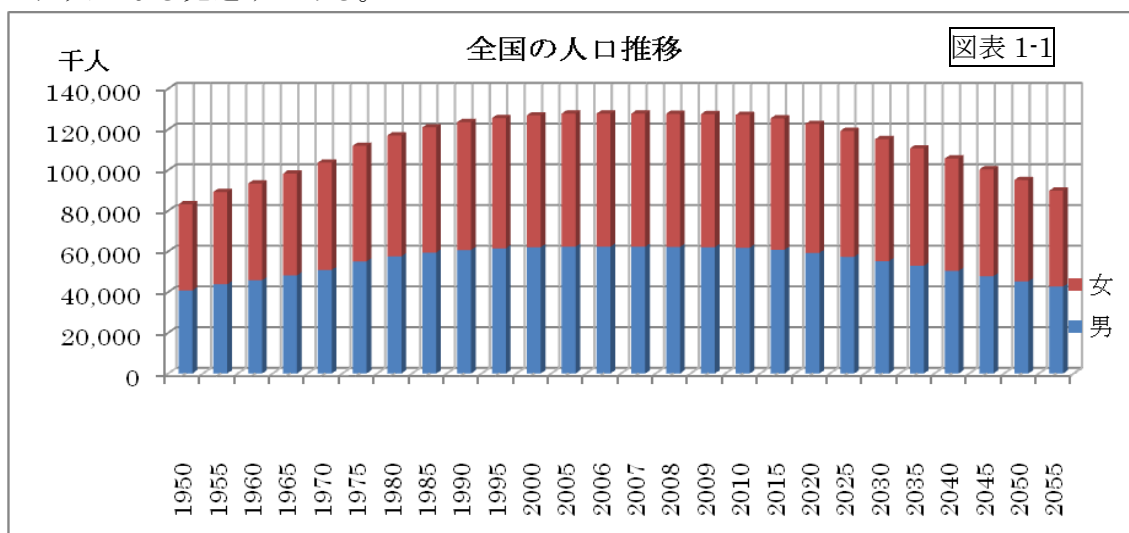
## 第1章 人口減少が進む地域社会

### 第1節 全国的な特徴と傾向

#### 1 日本の人口の推移と将来推計

国立社会保障・人口問題研究所が発表した人口統計資料集(2010)および総務省の人口推計結果によると、わが国の人口は2004年に1億2,779万人であったが、2005年に1億2,777万人となり、戦後はじめて総人口の減少への転換期を迎えることとなった。その後、2006年、2007年はほぼ横這いで若干の増となったが、2008年、2009年は減少傾向が顕著に現れる結果となった。

日本の人口は、2005年の1億2,777万人から2020年には1億2,274万人、2035年には1億1,068万人、2055年には2005年比29.6%の3,784万人が減少し8,993万人となる見込みである。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010)および総務省人口推計により作成

#### 2 都道府県別将来推計人口

将来推計人口によると、2010年以降で人口増加が見込まれるのは、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県および沖縄県、2020年には東京都と沖縄県だけ、2025年には沖縄県のみ、2030年には全ての都道府県で人口減少が予想されている。

つまり、いわゆる人口流入が多いとされる首都圏においても人口減少へと転じることとなる。

人口増加が予想される都道府県

図表1-2

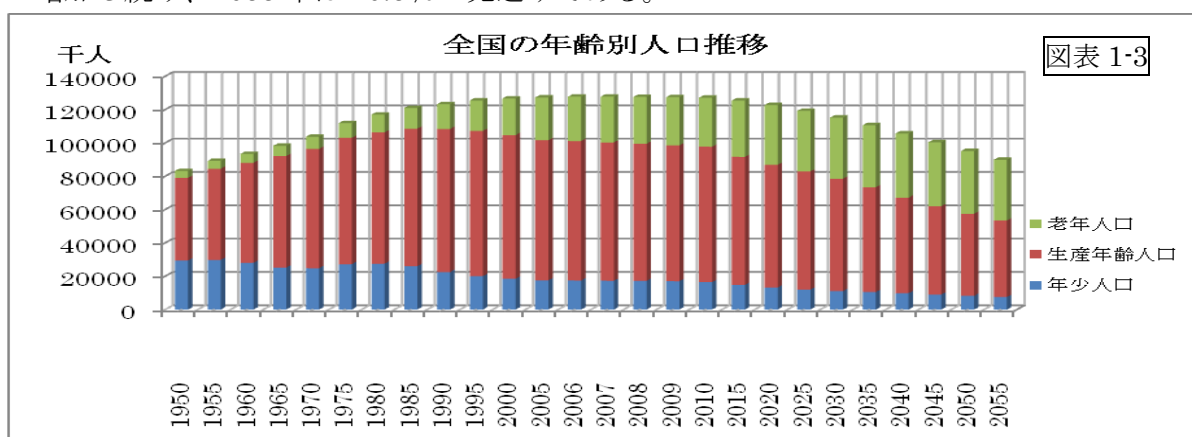
2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 愛知県 滋賀県 沖縄県	東京都 神奈川県 愛知県 滋賀県 沖縄県	東京都 沖縄県	沖縄県	—

(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010)により作成

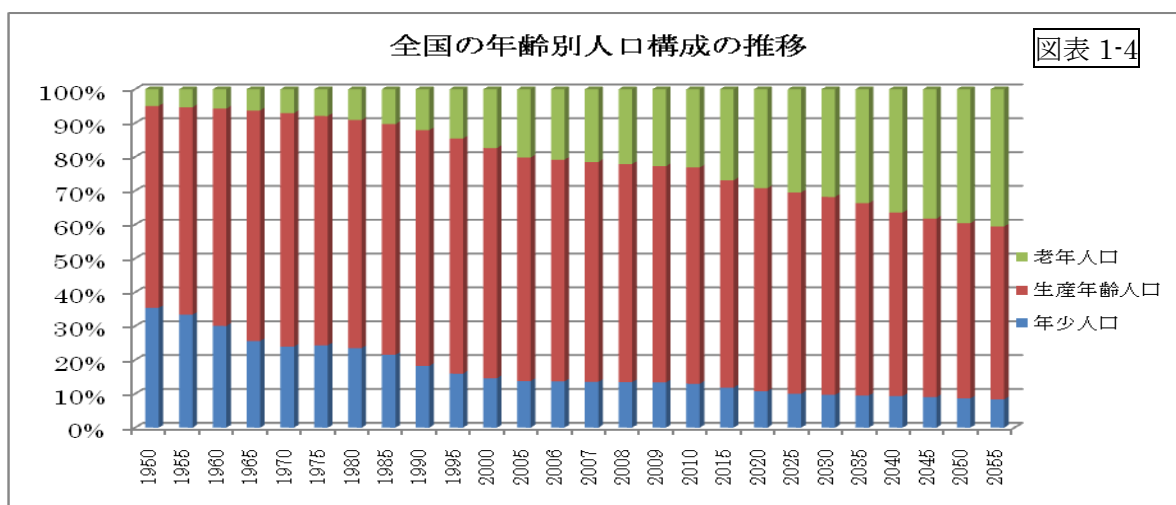
### 3 年齢別人口の推移

年齢別人口については、2005年と比して2035年には0歳から14歳までの年少人口(以下、年少人口という。)は、1,752万人が1,051万人となり701万人の減少、また15歳から64歳までの生産年齢人口(以下、生産年齢人口という。)は、8,409万人が6,292万人となり2,117万人が減少する。逆に65歳以上の老年人口(以下、老年人口という。)は、2,567万人から3,725万人と1,158万人増加する見込みとなっている。年齢別人口構成割合については、2035年には、年少人口の割合が9.5%、生産年齢人口が56.8%、老年人口の割合が33.7%となり、少子超高齢社会が到来することとなる。

また、2055年には、年少人口が751万人、生産年齢人口が4,595万人、老年人口が3,646万人となり、2005年と比して、年少人口は57.1%減、生産年齢人口は45.4%減となる一方で、老年人口は42%増加することが予想される。老年人口は2040年をピークに減少することとなるが、総人口の減少の速度の方が速く、老年人口の割合は増加し続け、2055年は40.5%の見込みである。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010) および総務省人口推計により作成



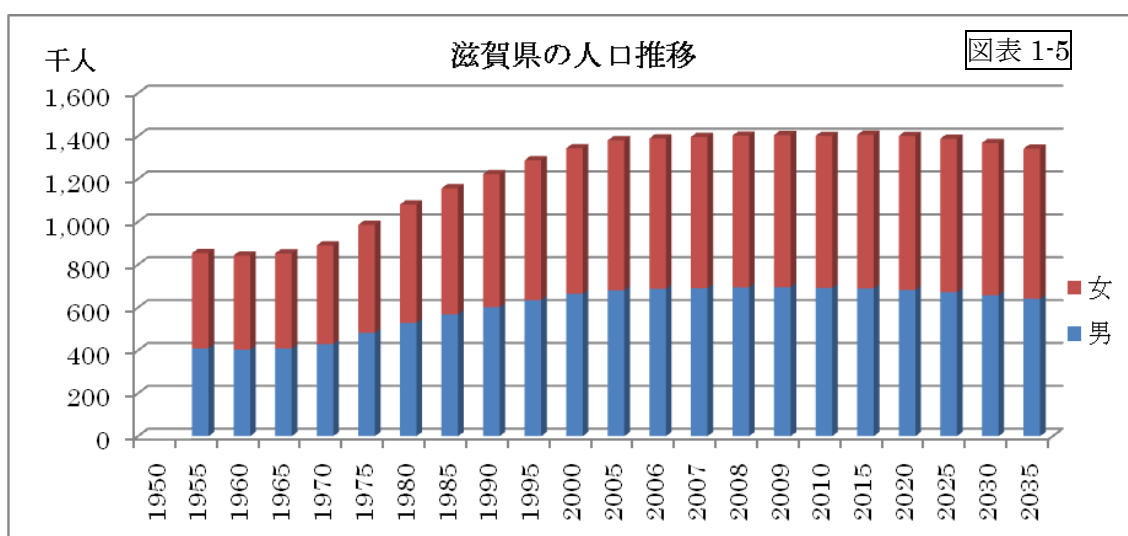
(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010) および総務省人口推計により作成

## 第2節 滋賀県の特徴と傾向

### 1 滋賀県の人口の推移と将来推計

国立社会保障・人口問題研究所が発表した人口統計資料集(2010)および総務省の人口推計の結果によると、滋賀県の人口は2005年の1,380千人から、2015年には1,406千人へと増加することが見込まれているが、ここがピークとなりその後は減少し、2035年には1,341千人に減少する見込みとなっている。

滋賀県は、交通の要衝地であり、京都・大阪へのアクセスの良さによってベッドタウン化する等、今日まで人口が増加してきたが、国内の傾向と同様、いよいよ人口減少の時代へと突入することとなる。



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010) および総務省人口推計により作成

### 2 市町別将来推計人口

将来推計人口によると、2015年以降で人口増加が見込まれるのは、大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市および愛荘町、2025年には草津市、守山市、栗東市、愛荘町、2030年以降は守山市、栗東市、愛荘町が予想される。

人口増加が予想される滋賀県内の市町

図表1-6

2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
大津市	大津市	大津市	草津市	守山市	守山市
彦根市	草津市	草津市	守山市	栗東市	栗東市
草津市	守山市	守山市	栗東市	愛荘町	愛荘町
守山市	栗東市	栗東市	愛荘町		
栗東市	野洲市	野洲市			
甲賀市	湖南市	湖南市			
野洲市	愛荘町	愛荘町			
湖南市					
東近江市					
竜王町					
愛荘町					
豊郷町					

(出所) 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010)により作成

### 3 年齢別人口の推移

年齢別人口については、2005年と比して2035年の年少人口は、213千人が146千人となり67千人の減少、生産年齢人口は917千人が794千人となり123千人減少する一方、老年人口は250千人が401千人151千人増加する見込みとなっている。2006年から2035年まで、年少人口および生産年齢人口は減少し続け、老年人口は増加し続けることとなる。

2035年の年齢別人口構成については、年少人口の割合が10.9%、生産年齢人口が59.2%、老年人口の割合が29.9%となり、少子超高齢社会が到来することとなる。この割合は、全国数値では2020年から2025年に相当することとなり、全国の傾向から10年ほど遅れることとなる。

しかし、生産年齢人口の減少は、社会の活力の維持や労働力の確保に大きな影響を与える。

